

震災がれき受け入れ問題と その真相

政府は、東北大震災被災地の復興を遅らせている要因として、震災時に発生したがれき処理の問題を挙げており、環境省が全国の自治体に、震災がれきの受け入れを働きかけています。「痛みをわかちあおう」という声、「放射性廃棄物を含んだがれきが拡散し、全国で放射能汚染が広がる」という声等々、国民も判断に苦悩しています。

ちなみに、熊本県内の自治体で受け入れを表明しているところは無く、蒲島知事も現段階で、

「安全性が確認されておらず、市町村にお願いすべきか判断できない」と述べています。

そこで、長年環境問題に取り組んでこられた、環境総合研究所の青山貞一さんをお招きし、なかなかメディアが報じない情報も含め、震災がれき受け入れ問題についてお話しいただく学習会を開催いたします。一般県民の皆さんも、県や市町村行政の皆さんも、貴重な学習の場になると思いますので、奮ってご参加ください。

学習会：「震災がれき受け入れ問題とその真相」

講師：青山 貞一さん（環境総合研究所顧問）

日時：5月13日（日） 14時～16時

会場：県民交流館10階 パレアホール

参加費：無料

※手話通訳・要約筆記（画面に文字を映しだします） 有り

※託児をご希望の方は下記までご連絡ください。

＜青山貞一さんのプロフィール＞

元東京都市大学教授 /
環境総合研究所所長、
環境行政改革フォーラム代表幹事

※本年4月から

早稲田大学理工学部非常勤講師、他
専門：環境政策論、公共政策論

経歴：1986年、池田こみち氏と環境総合研究所を設立

昨年春から、東北3県に都合9回現地入りし、放射線測定調査を実施



主催：平野みどりとくらしを政治につなぐ会
連絡先：090-2502-3410

E-mail: info@hiranomidori.net
Fax：096-297-2433